

Steroids metabolism and Cross-talk of steroid receptors in Prostatic cancer cells

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-11-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高, 栄哲, Koh, Eitetsu メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00048936

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



KAKEN
2000
15

金沢大学

前立腺癌細胞におけるステロイド代謝及びそのレセプター間のクロ
ストークに関する研究

課題番号 11671542

平成11年度～平成12年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(2)）研究成果報告書

平成13年3月

研究代表者 高 栄哲
(金沢大学医学部附属病院助手)

は し が き

癌に対するアプローチは、その発生、転移、再発について集中的に行われている。ところで、前立腺癌はホルモン感受性癌であり、他の癌とは一線を画している。その特徴は、抗アンドロゲン療法に対し著効を示すが、大多数は再燃し、さらに治療自体が症状を悪化させる抗アンドロゲン除去症候群なども生じ、その機序解明が切望されている。とりわけ、前立腺癌のホルモンに対する研究は、多くの場合精巢性アンドロゲンの研究に偏っている。抗アンドロゲン剤が不応になり、抗アンドロゲン除去症候群などの現象には、多様なステロイドホルモン代謝やレセプターの相互関与が示唆される。これらの多様なステロイドの調節は、核内レセプターを持つスーパーファミリーとして構造的共通性を持ち、リガンド依存性の転写系が注目されている。特に、コアクチベータは多くのステロイドレセプターにおいて共通し、その作用がアンタゴニスト作用やアゴニスト作用のスイッチ作用をもつ可能性も徐々に報告され、さらにある実験系ではアンドロゲン・グルココルチコイド・プロゲステロンの各々のレセプターが互いに転写活性に影響を与えているというクロストークという現象も報告されている。このような観点より、前立腺癌の研究は多様なステロイドホルモンに対する、転写から代謝レベルまでの包括的な研究が必要と考えられる。

研究組織

研究代表者：高 栄哲（金沢大学医学部附属病院助手）
研究分担者：越田 潔（金沢大学医学部附属病院講師）
研究分担者：並木幹夫（金沢大学医学部教授）

研究経費

平成11年度	2,500千円
平成12年度	1,300千円
計	3,800千円

研究発表

学会誌等 なし

口頭発表

金谷二郎、高栄哲、越田潔、並木幹夫

前立腺癌細胞株のアンドロゲン感受性はグルクロン酸抱合活性に関係している
日本癌学会 58 回総会 1999 年 9 月 29-10 月 1 日

金谷二郎、高栄哲、並木幹夫

ホルモン依存性および非依存性前立腺癌細胞株におけるステロイド代謝およびグルクロン酸抱合について 第 18 回北陸合同内分泌・代謝談話会 1998 年 12 月 5 日 金沢

Jiro Kanaya, Eitetsu Koh, Mikio Namiki

COMPARISON OF STEROID HORMONE METABOLISM AND SPECIFICITY OF UDT-GLUCURONOSYLTRANSFERASE ACTIVITY IN HUMAN CANCER CELL LINES

The 6th International congress on hormones and cancer September 5-9, 1999
Yerusalem, Israel

金谷二郎、高 栄哲、並木幹夫

前立腺癌細胞株におけるステロイド代謝およびグルクロン酸抱合について
第 18 回北陸合同内分泌・代謝談話会—金沢例会[第 34 回]
1999 年 7 月 16 日 金沢

金谷二郎、高 栄哲、並木幹夫

前立腺癌細胞株における副腎性ステロイド代謝とグルクロン酸抱合について
第 18 回北陸合同内分泌・代謝談話会 1999 年 10 月 30 日 金沢

金谷二郎、高 栄哲、並木幹夫

グルクロン酸転移酵素(UGT2B15)遺伝子を導入した LNCaP におけるステロイドホルモン代謝の検討
第 9 回細胞解析研究会 2000 年 3 月 18 日 金沢

Jiro Kanaya, Eitetsu Koh, Mikio Namiki
The regulation of adrenal steroids in human prostatic cancer cell lines.
The 3rd Asia Oceania Conference andrology Chiba, May 24-27, 2000

高 栄哲、並木幹夫
前立腺組織内の in vivo 系ステロイドホルモン代謝について
北陸合同内分泌・代謝談話会 金沢例会第 35 回 2000 年 7 月 7 日 金沢

金谷二郎、高 栄哲、並木幹夫
グルクロン酸転移酵素(UGT2B15)遺伝子を導入した PC-3, DU145, LNCaP におけるステロイドホルモン代謝および細胞増殖活性の検討
第 88 回日本泌尿器科学会総会 2000 年 6 月 7-4 月 10 日 札幌

高 栄哲、金谷二郎、前田雄司、並木幹夫
前立腺組織内におけるステロイド代謝（とくに 17β HSD を中心として）
第 8 回日本ステロイドホルモン学会 2000 年 11 月 25 日 大阪

出版物

1. Kanaya, J., Koh, E., Namiki, M., Adrenal steroids in human prostatic cancer cell lines., Advanced in reproduction. in press
2. Koh, E., Kanaya, J., Namiki, M., Adrenal steroids in human prostatic cancer cells lines. Archives of Androgy. 46(2):117-125 (2001)